

イノベーションコースト構想人材育成事業 先進施設見学

令和3年7月15日(木)

コース1【廃炉技術】

・檜葉遠隔技術開発センター(檜葉町)

東京電力福島第一原子力発電所における廃炉作業に関する様々な実験や訓練を行う試験棟や、VRシステムによる発電所内のシミュレーションなどを見学した。また、実際にロボットを遠隔操作する訓練体験も行った。



・東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)

東日本大震災時の様々な記録を、映像や写真などを交えながら見学した。途中、語り部の方による講話があり、10年前の被災体験を聞く機会もあった。



[生徒の感想]

遠隔技術開発センターでは、迫力のある装置がいくつも並べられていて圧巻でした。伝承館では、津波の漂流物や当時の写真が展示されているのを見て、古い記憶がよみがえり、複雑な気持ちになりました。

コース2【ロボット技術】

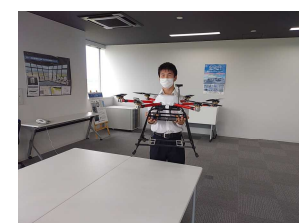
・(株)菊池製作所(南相馬市)

菊池製作所で開発した「マッスルスーツ」についての説明を受け、実際に着用し、人工筋肉の威力を実感した。



・福島ロボットテストフィールド(南相馬市)

ドローンの操作を体験して、ドローンの可能性を学習した。



[生徒の感想]

革新的アイデアによって創られている最新テクノロジーのすごさを体感できた。それだけでなく、新しいものを生み出すためには血のにじむような努力が必要だということも痛感した。次世代を築いていく責任感が大きくなった。

コース3【環境の再生・創造】

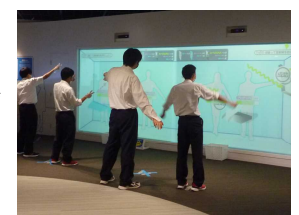
・日本大学工学部(郡山市)

生命応用化学科の先生より「環境・健康と分析化学」「脱炭素社会の実現に向けた化学工学的アプローチ」というテーマで講義していただいた。



・コミュタン福島(三春町)

東日本大震災の詳細を経時で学ぶことができた。更に、福島原子力発電所の事故を考える上で大切となる放射線についても、体験学習をとおして基礎から学ぶことができた。



[生徒の感想]

今回の見学でLOHASと呼ばれる「人と地球が健康で永続的に共生する生活スタイル」をめざした、今後福島の復興や創生を支えていくであろう新しい工学をもっと学びたいと思った。

コース4【産業再生】

・紅梅夢ファーム(南相馬市)

無人で動くトラクターや直線キープ機能付きの田植え機を活用し、農業にかかわる若い世代の育成と小高区全体の農地保全に向けての取り組みについての講話を聞いた。



・小高ワーカーズベース(南相馬市)

生活環境の整備のために仕事や生きがい、事業者のコミュニティづくりをしている会社で、自立した地域社会の実現に向けて取り組んでいるという講話を聞いた。



[生徒の感想]

今回の見学は、自分の進路実現につながる大きな一歩となった。紅梅夢ファームではスマート農業技術が新しい農業経営構築に結びついていることがわかった。小高ワーカーズベースでは、実際に起業までに至るストーリーや復興するための課題点など、リアルな小高区の復興状況を学べた。これらの見学は、自分の将来の夢の実現のための課題点を見つけ出す大きなきっかけとなった。

コース5【災害の歴史】

・東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)

展示物や写真をはじめとし、様々な技術を駆使した映像等の資料を見学し、それに関するスタッフの方の説明を聞いた。



・特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま(富岡町)

埋立処分施設を実際に見学し、クレーンやトラックが行き交う現場の様子や、働いている作業員の方々の様子を間近で見た。



[生徒の感想]

伝承館では、東日本大震災の記録を主に見てきた。震災当時の記憶があまりないので、被災地がどのような状況だったのかよく知れた。リプルンふくしまでは、ゴミの埋め立て処分について学んだ。処分の過程で安全のための必要以上の工夫が実際に見られた。